

の確認した。

平成 22 年 8 月 25 日 現地調査 ■■■、■■■と協議 木屑の混入を確認したので口頭注意

平成 22 年 8 月 27 日 ■■■から電話連絡 調圧槽付近に堆積した木屑が沢に崩壊したと連絡あり。

今後は■■■が■■■に代わり施工するといっているとか。

同日 現地調査 上流部（調圧槽付近）から木屑＋土砂が崩壊し下流に流出しているの確認した。■■■

■■■（■■■、■■■）に来庁を指示した。

同日 健福■■■に電話連絡 事態を説明した。（写真をメール送信）

平成 22 年 8 月 30 日 ■■■より電話連絡 D工区搬入は終了したと回答 赤井谷はいつまで続くのか？→不明です→指導徹底して（B工区道路は使用禁止）→わかりました。

同日 現場調査 崩落した土砂の成形作業を確認した。

平成 22 年 8 月 31 日 現地調査 健福 木屑混入盛土健福立会い ■■■、■■■に事情を聞く。その後役所で■■■のみ再度事情を聞く。

平成 22 年 9 月 1 日 ■■■来庁 今後の予定等事情を聞く

同日 熱土■■■に電話連絡 赤井谷への不法投棄で健福及び県庁が動いていると報告する。

平成 22 年 9 月 2 日 ■■■来庁 健福が改めて事情を聞く。市は、工期切れ及び工法変更等をどう処理するのか協議

平成 22 年 9 月 3 日 ■■■来庁 明日午後から固化材を投入して法面成形を再開すると回答得る。■■■

■■■が木屑を埋めるかもの知れないと情報提供を受け、健福に電話連絡する。

同日 現場調査 健福 ■■■が来ると思われたが、会えなかった。■■■が成形作業をしていた。

平成 22 年 9 月 6 日 ■■■より電話連絡 大きい木屑は撤去できるが、細かいのは無理であると報告を受ける。木屑は■■■が絡んでいる、■■■は逃げていると情報提供を受ける。

平成 22 年 9 月 7 日 現地調査 ■■■と協議 固化材法面成形を確認した。

平成 22 年 9 月 8 日 現地調査 雨天 異常なし

平成 22 年 9 月 9 日 ■■■訪問 県・市の要望をすべて了承した。後日■■■から文書で回答貰う予定

平成 22 年 9 月 17 日 ■■■より電話連絡 ■■■が酔っ払って木屑等の件で市に通報したのは■■■

■■■であると因縁をつけられたと報告を受ける。現場は資金繰りが悪化して中断中

同日 現場調査 雨のため法面一部崩落（小規模）を確認

平成 22 年 9 月 21 日 現地調査 現状維持

平成 22 年 9 月 24 日 現地調査 健福 現状維持

平成 22 年 10 月 4 日 現地調査 現状維持

平成 22 年 10 月 5 日 ■■■来庁 本日■■■、■■■と協議予定 手続き違反を通告した。対応建設課に依頼した。

平成 22 年 10 月 7 日 健福より電話連絡 土砂が大量に搬入されている。進入路付近にレンガ屑混じりの産廃が敷き均されていると情報提供を受ける。

平成 22 年 10 月 8 日 健福と協議 昨日の現場写真、報告書受領 市はどうするのか？→土砂搬入を止めたいと回答した。

同日 現地調査 瓦、タイル、Co ガラ等の進入路に敷均しを確認した。

平成 22 年 10 月 13 日 健福と協議 残土券の記載内容メモを見せてもらう。進入路にレンガ混ガラがさらに増えた。残土も大量になっていたと情報提供を受ける。

同日 現地調査 調圧槽手前に大量の土砂を確認

平成 22 年 10 月 15 日 現地調査 土砂搬入を確認

平成 22 年 10 月 18 日 ■■■より電話連絡 まだ土砂の搬入が続いているがいつまで続くのか？→期限切れを説明 担当課はどこ？→建設課→問合せしてみる。